

コンクリート構造物の補修，補強，アップグレード論文報告集 第18巻
Proceedings of the Concrete Structure Scenarios, JSMS, Vol. 18

第18回 コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム
The 18th JSMS Symposium on Concrete Structure Scenarios

—投稿・発表募集—

<http://conresin.jsms.jp/>

シンポジウム開催日	2018年10月25日(木)，26日(金)
「論文」「報告」 投稿申込	締切日 2018年3月30日(金)
査読原稿提出	2018年5月11日(金)
最終原稿提出	2018年8月24日(金)

主催 公益社団法人 日本材料学会
物質材料研究機構・京都大学 (SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」) 共同研究グループ

後援(予定) 土木学会，日本建築学会，日本コンクリート工学会，
プレストレストコンクリート工学会，セメント協会，日本非破壊検査協会，若手
コンクリート研究会，コンクリート21


期日 2018年10月25日(木)，26日(金)

会場 [金沢商工会議所会館](#)
〒920-8639 金沢市尾山町9番13号
Tel : 076-263-1153

主旨

コンクリート工事用樹脂部門委員会(委員長：大阪大学大学院・鎌田敏郎教授)では，補修用樹脂小委員会を設け，コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードに関する調査・研究を行ってまいりましたが，2001年からは表記のシンポジウムを開催するとともに論文報告集を発売してまいりました。昨今，これら対策のみならず，種々の劣化機構における劣化予測，点検，評価および判定，記録や，LCC評価等も含めたコンクリート構造物の維持管理手法の開発・体系化の重要性は，ますます高まっているといえます。

コンクリート構造物のライフサイクルのシナリオに関する「論文」，「報告」を広く募集し，発表いただくことで，多角的かつ闊達な討議を行いたいと考えています。また，最新の情報に関する招待講演も設ける予定です。投稿・参加ご希望の方は，下記要領をご参照のうえ奮ってお申込下さい。

本シンポジウムは土木学会認定 CPD プログラム  です。

記

[1] 「論文」「報告」の投稿申込

投稿内容 以下の内容を含むような「論文」，または「報告」であって，最新の結果を盛り込んだもの，あるいは既往の論文，報告等を総括的に取りまとめたもの。

- ① コンクリート構造物の耐久性，劣化，維持管理，非破壊検査に関する調査研究
- ② コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードに関する調査研究
- ③ その他(耐久性設計，ライフサイクルコスト算定など)

「論文」と「報告」の区別は，投稿の優劣を表すものではなく，以下のようにお考え下さい。

「論文」研究の成果について、目的、方法、結果に加え、考察も明示されているオリジナルペーパー。

「報告」工事報告、調査報告あるいは技術開発の成果が明示されているもの。単なる工事記録ではなく、効果確認や適用後の追跡調査等も含むものとします。

申込資格 講演者は、申込の時点で会員（後援団体を含む）であること。ただし、連名者（4名まで）は非会員でも可。
※講演者+連名者で合計5名まで。

申込方法 [ホームページ](#)からお申込み下さい。
※投稿申込料は不要ですが、参加費は必要です。講演者は、下記[2]の参加申込をお済ませ下さい。
※題目・著者名の申込後の変更は、原則として認められません。
※1人の講演者は1件の講演のみといたします。

採 否 「論文」と「報告」とともにアブストラクトおよびフルペーパーで査読を行います。ホームページで[査読要領](#)をご参照ください。査読結果および本論文報告集・シンポジウムの目的を勘案のうえ、コンクリート構造物の補修、補強、アップグレード論文報告集編集委員会にて採否を決定します。採択分は「コンクリート構造物の補修、補強、アップグレード論文報告集 第18巻」に掲載するとともに、シンポジウムで講演していただきます。なお、掲載された「論文」・「報告」の著作権は、日本材料学会に譲渡するものとします。

執 筆 ホームページで[執筆要領](#)をご参照ください。[テンプレートファイル](#)もダウンロードできます（English version is [here](#)）。
題目・著者名の申込み時からの変更は、原則として認められません。また、1人の講演者は1件の講演のみといたします。
本論文報告集に関連の深い用語の[和英対訳](#)を掲載しましたので、ホームページをご参照ください。
修正原稿提出時の[修正報告テンプレート](#)を用意しました。

原稿提出 アブストラクト査読の結果、原稿を執筆いただく方に執筆依頼のメールをお送りします。メールに記載の要領ならびに[投稿要領](#)に従い、期日までに原稿を提出してください。

表 彰 開催年4月1日現在で40歳未満の講演者を対象とした優秀論文賞および優秀報告賞、および全論文を対象とした最優秀論文賞を設定しています。ホームページで[表彰規程](#)をご参照ください。

[2] シンポジウム 参加申込

定 員 250名程度

参加費 会 員 一般：10,000円 学生：4,000円
非会員 一般：14,000円 学生：5,000円
※論文報告集（当日配布）代を含む。会員は後援団体を含む。
※当日入会可：当日に日本材料学会への入会手続きが可能です。その場合、会員価格でご参加いただけます。この機に日本材料学会へのご入会をお願い申し上げます。

申込期限 定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。

申込方法 ホームページから[お申込み下さい](#)。折返し参加証をお送りします。

[4] シンポジウム 懇親会 参加申込

シンポジウム 1 日目終了後、同所にて懇親会を開催いたします。

参加費 一般：6,000 円 学生：3,000 円
※会員・非会員とも。

申込方法 ホームページから[お申込み下さい](#)。折返し参加証をお送りします。

[5] お問い合わせ先

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101
(公社) 日本材料学会
「コンクリート構造物の補修、補強、アップグレード論文報告集・シンポジウム」係
Tel : 075-761-5321 Fax : 075-761-5325 E-mail : jimu@jsms.jp

※投稿・参加申込等の際にお届けいただいた個人情報、参加証等の送付、諸連絡、行事案内等の日本材料学会の事業運営のみに使用させていただきます。

[6] 論文・報告 講演要領

プログラムを示した参加募集もあわせてご参照下さいますようお願いいたします。

- (1) 参加申込をお済ませください。
※投稿申込料は不要ですが、参加費（論文報告集代含む）は必要です。
- (2) 当該セッション直前の休憩時間に、座長席にお集まりください。
- (3) 講演時間は以下の通りです。

	講演時間	質疑時間
論文	10 分	5 分
報告	10 分	5 分

(講演・質疑時間は変更の可能性があります。)

- (4) 各自の講演用ファイルを含むノートパソコン（および電源ケーブル）をご持参ください。

※発表には各講演者ご持参の PC を使用していただきます。

※講演前にパソコンの立ち上げ・ソフトの立ち上げなどご準備いただき、講演時にすばやくプロジェクタに接続してご使用いただきます。

※会場では、プロジェクタおよび接続ケーブル（3 段 15 ピンディスプレイケーブル、写真 1）をご用意いたしますので、接続可能な状態でノートパソコンをご持参ください。小型ノートパソコンなどでディスプレイアダプタ（写真 2）が必要な場合は、各自で忘れずにご用意くださいますようお願いいたします。



写真 1 3 段 15 ピンディスプレイ
ケーブルの例



写真 2 ディスプレイアダプタの例